

質問者	質問・意見	対応・回答
① 新 一 様	<p>中心市街地も昔はほとんどが水田だった。しかし、現在は水田はほとんどない。計画に公園の整備は入っていないが、市街地が全て宅地になった場合、逃げる所がない。牛倉神社は古い木があるので、枝などが落ちてくることも考えられるので、逃げることができない。畑など、逃げる場所がある場合は良いが、逃げる場所がないところがたくさんある。全て宅地になって農地が無くなった時、公園が必要なのではないか。</p> <p>例えば新町地区に1か所、本町地区に1か所というように、2か所くらいは必要だと思う。学校など避難できる場所があれば別だが、計画の段階で場所は特定できなくても、公園の計画はしていただきたい。</p> <p>また、避難するにも、すべての道路が幅員4m以上で、車のすれ違いができれば話は別だが、車が1台停まっていれば、通れない道路がほとんどである。</p>	<p>計画では、歩行者空間の確保や滞留できる場所、公園について一部記載している。公園整備、防災・防災に関することも、計画に記載している。</p> <p>ただし、図面上でどの場所に整備するといった具体的な内容は決まっていない。説明したとおり国道20号の整備に関しては、そういったことも併せて考えていく。また、狭隘道路が防災上危ないという意見も頂いており、都市計画道路の見直しを行う中で、公園を設置する場所や滞留できる場所を検討していきたい。</p> <p>市民が滞留できてコミュニケーションがとれる場所の整備も計画の中で謳っている。</p> <p>貴重な意見として、今後、事業を実施する際には、取り入れさせて頂きたい。</p>
② 新 一 様	<p>JRの変電所の先に国鉄の官舎があった土地がある。その土地を一般に売却したのではないかと思う。また図書館の裏が一般の住宅になっている。将来のことを考えると、あれだけの土地はなかなか確保できない。せっかく活用できる土地があっても、何か再利用し、役立たせることも考えていただきたい。</p> <p>市も一生懸命やっていると思うが、10年、20年たった時に、「よかった」と言われるようなことをしてもらいたい。上野原と八王子を比べた時に、「上野原がすごくいい」と思ってくれれば、上野原に住むと思う。</p> <p>道路に関しても上野原は他のまちと比べた時に、何年たっても変わっていない。住み続けて70年たって、変わったのは、桂川と駅間の道路が広がったのと、工業団地の道路が広がっただけである。その他には広がった道路はほとんどない。</p>	<p>貴重なご意見として、今後検討していきたい。</p>
③ 本 三 様	<p>上野原市の人口はずっと減り、現在も減り、将来的にも減る。人口減少を食い止める、あるいは人口を増やすという施策は、この計画の中には入らないのか。</p>	<p>計画ではもちろん人口について謳っているが、本計画は、都市計画区域内が対象となる。また、市全域においても人口推計上、全国的に見ても増やすということは厳しい状況である。半減すると予想されている中で、減少をいかに抑えられるかということになる。「コンパクトシティ」といわれているが、まずは居住を誘導して、その中に都市機能を誘導するということになる。都市機能誘導区域、居住誘導区域の話になるが、人口が少なくなると、そこにある都市機能が運営できなくなる。また、都市機能が無いと生活利便性が低下し、そこに住むことが厳しくなってくる。例えば、病院のある八王子に引っ越すとか、スーパーのある八王子に引っ越すということになってしまう。そういったことが起こらないようにするということが、まず1点である。人口減少が見込まれる中、いかに減少の傾向を食い止めるか、減少時にどのように生活の利便を保っていくかという計画である。</p> <p>市では人口減少をどうにかしていこうということで、他の計画で、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」という計画がある。</p> <p>その計画では、上野原市全体を対象に、人口減少や雇用の関係などについて謳っている。立地適正化計画は、居住の誘導、都市機能の誘導で、生活利便性が確保できた地域とすることが計画の主要な内容となっており、人口を増やすということよりも、人口密度を低下させないということが、一番の目的になっている。生活利便性が保たれれば、コンパクトとなったその区域の人口が減らないので、どうにかしていこうという計画である。</p>

<p>④ 本三 様</p>	<p>国道20号について、四方津の辺りから県境までが上野原市の範囲になる。計画で言っている国道20号の整備は、まちなかのことだけを言っているのか、それとも四方津の方まで含めて言っているのか。四方津の西中とコモアの間を通学する生徒たちがいるが、通学するのに歩道が狭い。そこを大型のダンプカーがどんどん通っていく。全国で子どもが車にひかれる事故が頻繁におきているが、あそこはそういう事故がいつ起こっても不思議ではない。そういう環境の中を子どもが通学している。国道なので国の問題なのかという気もするが、国道20号の整備には、そういった場所も含まれるのか。</p>	<p>国道20号を拡幅するという内容は、上野原の中心市街地だけなのかということであるが、立地適正化計画では、都市機能を誘導する、まずは居住の利便性を確保するということから、計画では中心市街地を指している。先ほど話があった西中の生徒が四方津の国道20号を歩く際に、歩道が狭くて危ないということは把握している。教育委員会で検討をしているようであり、今後、協議・検討が必要な内容だと思われる。 詳細について把握してないが、国土交通省とも検討されているものだと思う。</p>
<p>⑤ 本三 様</p>	<p>昭和61年に都市計画道路が計画されたが、もう30年以上たっている。その計画は、ちゃんと実行されているのか。狹隘道路も整備されているのか。新しい病院ができたが、その前の道路は計画ではもっと広い道路になるはずだったという話を人から聞いたことがある。いまバスが通っているが、S字の道路ができてしまったりしている。令和20年に、この計画通りに進んでいくのか。 やり残していることがたくさんあるのではないかという気がする。</p>	<p>都市計画道路については、言われたとおりで、昭和61年に計画の変更を行っている。市内には都市計画道路が10路線あるが、ほとんど整備されていない。「絵にかいた餅」ではないかと言われており、今では夢のような話と言われている。計画当時は、幅員16mの道路を考えていた時代であった。その後の経済事情や、現状で家がたち並んでいるところに道路を整備するのは難しいという状況になっている。 そのため、都市計画道路の廃止、見直し、本当に必要な路線は強化していくという、計画の見直しをしていかなければならないと思っている。昭和61年以降、計画の見直しがまったくされておらず、この立地適正化計画に位置付けを行うことによって、ようやく都市計画道路の見直しができると思っている。 計画はあるが、実際のところ整備されていない状況であるため、今後は、見直しをした際には、実現できるように進めていければと思っている。</p>
<p>⑥ 新一 様</p>	<p>本日の出席で、住民説明会はこれで終わったという形で先に進めていくのは、危険な感じがする。 人口減少を食い止めるためにはどうしたらいいのか、あるいは交流人口をどうしたらいいのか。高齢者に関しては、集合住宅の整備ということもある。あるいは、人口知能の活用もある。そういうことも必要ではないか。 住民説明会は、回覧板でお知らせがあったということだが、私のところには回覧板が来なかった。住民説明会があることは、今日知った。 市民が非常に無関心で、説明会に出てこないということは、問題があると思う。都市計画の範疇がどういうところまでなのか判断できない。 20年も30年も先のことは、計画通りにはいかない部分があると思う。市民に関心を持たせる形で、地区の区長には、説明会に強制的に出てもらおうということもある。</p>	<p>ご意見の通り、私たちの呼びかけが足りなかったと痛感しているところである。 広報、ホームページ、回覧等で周知をしたつもりであるが、皆さんにわかりやすく、興味をもって頂けるような形で、呼びかけが出来ればよかったと反省しているところである。 明日も同じ時間に住民説明会の開催を予定をさせて頂いている。今から区長に呼びかける訳にはいかないが、周りの方々に直接声を掛けさせて頂いて、「興味があれば説明会に来てください」と話ができればと思っているところである。 これまで庁内検討会や策定懇話会という組織を通じて、色々協議をさせて頂いたが、市民の皆さんにこういった説明会で話を聞いて頂く機会がなければならぬので、明日また説明会をやらせて頂く際には、少しでも市民の皆さんに来て頂けるようにと思っている。今後も市民が行きたいと思えるような会議ができればと思う。</p>

<p>⑦ コ モ ア し お つ  様</p>	<p>立地適正化計画をはじめて見せて頂いたが、内容的には非常にまとまっていてよい方向だなと思っている。 これは、20年後に人口が11,000人ぐらいになった時に、このようにしたいということか。それとも人口を減らさないように維持をして、税収を増やしていくことか。</p>	<p>人口減少に関しては「まち・ひと・しごと創生総合戦略」という計画がある。その中で、市全体の人口に対しての戦略的な考え方を計画しているところである。 今後、人口が減っていく中で、13,000人まで減らないように対策は練っているが、減っていった際に居住されている方が生活できない状況では困るので、生活の利便性は図っていかなければならない。そのために、人口が減った際でも皆様が生活できる場所、また都市機能を有する市であることを考えている。 例えば上野原の中心市街地に、病院やスーパーがなければ桐原や西原、秋山に住んでいる方も困る。都市機能が無くなるように、また人口密度が減ってくれば都市機能も衰退せざるをえなく、撤退ということになるので、そういったことにならないための計画となっている。さらに、そういった区域で生活しやすい環境を整える計画であり、20年後を目標に、このような対策を進めていくという計画になっている。</p>
<p>⑧ コ モ ア し お つ  様</p>	<p>今後は、残念だが人口が減っていく。 公共施設は、病院、図書館、プールなどが、全部別々の場所に建っていて、非常に行きにくい。一か所にまとめて欲しい。その内容は計画には入っていない。それを入れて頂くと、私たち市民もやりやすくていいと思う。</p>	<p>我々としても課題になっている部分である。 資料の「上野原市が講じる先導的な取り組み」に示している3項目を当面の課題として、今後20年間取り組みを行うことによって、資料の目標指標にある「人口密度の維持」のような目標を達成しようというものである。 このままでいると、中心市街地の人口密度が26人/ha弱から13人/haと約半減してしまう。そのような中で、これから20年間先導的な取り組みを行うことにより、人口密度を20人/ha程度に収めていきたい。 人口密度が少なくなると、商業施設等は、費用対効果が得られず撤退等が生じ、中心市街地の都市機能が失われてしまうことになる。それを防ぐために、「上野原市が講じる先導的な取り組み」で示しているこれらの施策を第1段階的に取り組んでいきたいと考えている。 図書館等の公共施設も、よりよくまとまった形で配置できればいいとは思いますが、当面の課題としては「上野原市が講じる先導的な取り組み」について、内容を重点的に取り組んでいくが、今後、必要な公共施設の集約等についても検討していきたいと考えている。</p>
<p>⑨ 新 井  様</p>	<p>資料の都市機能誘導区域の設定の位置づけにある「上野原中心拠点地区都市機能誘導区域」、「上野原駅周辺」について、「都市基盤整備と併せ、中心市街地と連続的に移動利便性を高める公共交通の結節機能を強化し、都市の玄関口にふさわしい、賑わい・交流機能の集積と居住利便性の向上を図る区域として設定します。」とあるが、現状の上野原駅の位置、状況を見て、これが果たして実現できるのか、非常に疑問に感じる。崖の下に中央線の駅がある。 尚且つ、南には川が迫っていて、水害の恐れがある。 そういうところを基盤整備して都市機能誘導区域として設定することは大丈夫なのか。</p>	<p>1点目は上野原駅の周辺のことだが、上野原市は河岸段丘の地形ということがあり、駅は現状の場所から移動はできない。 都市機能誘導区域に設定したひとつの理由として、都市計画運用指針で「駅周辺を定めるということが有効である」と定められている。水害の関係については、県で示す洪水等は考えられないエリア（洪水ハザードエリア外）として示されていることから、都市機能誘導区域として設定をした。</p>

<p>⑩ 新井 様</p>	<p>「上野原市が講じる先導的な取り組み」の「道路網の再編整備」、「国道20号の改善・整備」とあるが、国道は国が管理する道路であると私は理解している。それを上野原市が主導で改善・整備するという理解でよろしいのか。</p>	<p>国道20号の改善・整備の主体は、国の国土交通省だが、どうしても地域にお住いの商店街の方々やお住いの方々への働きかけであったり、用地に関する話等があるため、そのような部分は市が主体となって、住民の皆さんと話をしなければならない。実際に国道20号を整備するのは国であるが、準備の段階までは市がしなければならないということで、このような項目を計画に盛り込んでいるところである。国道20号の改修は、過去からずっと言われ続けていることだが、用地の問題や地域の皆さんの理解が得られないという中で、本計画を機会に本格的に考えていこうということで、20年かけてとなるが、重要な施策として計画に位置づけさせて頂いた。</p> <p>また、市としては、国道だから国にすべてを任せることではなく、できるだけ地元の皆様方と道路の拡幅の重要性を共有する中で、合意形成を図っていければと思っている。</p> <p>そういう部分で積極的に関与していきたいという意味を含めて課題として計画にあげさせて頂いた。</p>
<p>⑪ 新井 様</p>	<p>資料の地図が不鮮明で位置関係が分からないが、何とかならないか。</p>	<p>大変申し訳ない。</p> <p>配布した資料は不鮮明なので、壁に地図を掲示してある。細かい部分について説明をすると長くなってしまったため、もしよろしければ会議が終わって後説明をさせて頂く。壁に掲示してある都市計画図に色塗りをしているので、そちらをご覧頂ければと思う。</p> <p>（掲示した図で国道20号、主要地方道四日市場上野原線等の位置関係を説明）</p> <p>こちらの図面で確認頂ければある程度把握できると思う。</p>
<p>⑫ 新井 様</p>	<p>その地図は、ホームページで公開しているパブリックコメントには載っていないのか。</p>	<p>パブリックコメントは、本日の資料と同様の地図になっている。</p> <p>細かい部分については、こちらの区分けされた都市計画図で分かるようになっている。</p> <p>ホームページでは、今スクリーンに映している図でご覧頂くこととなる。</p> <p>（投影した地図で居住誘導区域の範囲を説明）</p> <p>中抜けになっているところは、土砂災害警戒区域であるため外している区域である。</p> <p>ホームページを見て頂いた方が、本日お配りしたものよりも鮮明だとは思われるが、わからない場合は、建設課に問い合わせ頂ければ説明するのでよろしくお願いしたい。</p>